

# NPO オープンマイク ジャパン 設立趣旨書

現代社会において、アーティストが創作活動を続けるための環境は決して十分ではない。表現の場の不足、経済的な制約、専門的な学びの機会の限界など、多くの障壁が存在する。特に、新進アーティストにとっては、自己表現の場を確保し、活動を継続することが大きな課題となっている。

また、地域社会においては、文化活動への関心が高まる一方で、アーティストと住民が交流し、芸術を身近に感じる機会が不足している。特に、都市部と地方の文化格差、世代間の文化体験の断絶などが、地域コミュニティの活力低下を招く要因となっている。

本法人は、これらの課題を解決し、アーティストが創作活動を継続できる環境を整えながら、地域社会との協働を促進し、誰もが芸術文化に触れ、参加できる場を提供する。

本法人は、オープンマイクを基盤としたアーティスト支援、地域コミュニティとの交流促進、そして芸術文化の普及・発展を目的として活動する。アーティストが自由に表現できる場を創出し、その才能を最大限に発揮できる環境を整えることで、持続可能な創作活動を支援する。また、芸術を媒介とした地域活性化を図り、多様な人々が芸術文化に親しみ、交流できる社会の実現を目指す。

本法人がNPO法人として活動する必要性は、アーティスト支援や地域文化の発展を持続的かつ広範に展開するための基盤を確立することにある。任意団体では、資金調達の難しさや社会的信用の不足、長期的な活動の不安定さといった課題があり、表現の場の提供や地域活性化を持続的に推進するには限界がある。特に、助成金や企業・団体からの支援を受けるハードルが高く、活動資金の確保が困難であること、公的な信用がないために行政や企業との連携が制約されること、組織の運営が個々のメンバーの熱意に依存しやすく長期的な継続が難しいことが問題となる。

一方で、NPO法人化することで、助成金や補助金の申請が可能となり、安定した資金調達が実現できるだけでなく、法人格を持つことで行政や企業との協働がしやすくなり、社会的信用が向上する。さらに、明確な運営体制のもとで事業の継続性を確保し、熱意に依存せず持続的な活動が可能となる。したがって、本法人がアーティスト支援と地域社会の文化振興を長期的かつ安定的に推進し、誰もが芸術文化に触れ、参加できる場を提供し続けるためには、NPO法人化が不可欠である。

本法人がNPO法人化することで、アーティスト支援と地域文化振興の枠を超え、さらに幅広い社会貢献が可能となる。まず、安定した資金基盤と公的な信用を活かし、より多くのアーティストに対して創作活動の機会を提供するとともに、活動の場を全国規模へと拡大できる。これにより、都市部に限らず、文化資源の乏しい地域でも芸術活動を促進し、地域間の文化格差の解消に寄与する。

また、学校や福祉施設と連携し、子どもや高齢者、障がい者など、文化活動へのアクセスが限られがちな層に向けた芸術プログラムを展開することで、誰もが芸術を楽しみ、自己表現の機会を

得られる社会の実現を目指す。さらに、異なる文化的背景を持つ人々が交流できるイベントやワークショップを開催し、多文化共生を促進するとともに、地域コミュニティの活性化に貢献する。

加えて、企業や自治体との協働を強化することで、文化を活用したまちづくりや観光振興にも寄与し、地域の経済的発展にもつなげることができる。アーティストが単に創作活動を続けるだけでなく、社会に貢献しながら持続可能なキャリアを築けるような仕組みを確立し、芸術がより多くの人々にとって身近で価値あるものとなることを目指す。

このように、NPO法人化を通じて、単なるアーティスト支援を超えた広範な社会貢献を実現し、芸術文化を基盤としたより豊かで多様性に満ちた社会の創造に寄与していく。

#### **2019年 5月**

ニューヨークで前身の団体である「yosemic」を発足。ブルックリンで初のオープンマイクイベント開催。以後毎月イベントを開催。延べ100組以上のアーティストが参加。

#### **2020年 9月**

拠点を東京下北沢に移し活動を再開。

#### **2021年**

4月 ニューヨークでの活動を経験したアーティストをメインにしたイベント「さらけだし」をコワーキングスペースROBERTで開催。

10月 大阪と下北沢2拠点で「さらけだせ、愛」を開催。

11月 文化庁AFFの助成金を経てart in progressと共同イベントを開催。

毎月行われるオープンマイクでは年間延べ150組がイベントに参加。

#### **2022年**

4月 本団体のイベントスペースをクラウドファンディングで資金調達し正式オープン。

毎週オープンマイクをメインに音楽イベント、お笑いイベント、講習会など年間約50回のイベントを実施。

その中で、

5月 Funny 映画上映会を開催。

8月 NPO法人こと「もアート企画mottoと合同イベント「古着でなにつくろ！」を開催。

9月 ニューヨークからダンサー草島 叶実を招いて「I dance for you」を開催。

10月 山梨でキャンパイベントでは自然と芸術の一体型イベント「宴」を開催。

#### **2023年**

オープンマイク以外にも定期イベントとして音楽イベント「ツヤニーセッション」、お笑いイベント「ごどう寄席」などジャンルの幅を広げ年間70回以上のイベントを実施。

その中で、

2月 武者小路千家の茶人芳野敬弥を招いて茶会を開催。

9月 世田谷ポート主催の三軒茶屋で行われた「SETAGAYA NEW WAVE REUNION—いま、再会しよう—」でパフォーマンスブースとしてオープンマイクを無印良品入りロススペースで実施。

11月 セタオーレーベル(“音楽”を通じて、福祉という概念やそれぞれの背景を超えた、新たな関係性や価値観を生み出すべく発足した今年2年目のプロジェクト)に参加し、新曲リリース記念&SOY-POYコラボ特別企画を開催。

#### **2024年**

年間70回以上のイベントを実施。延べ500組以上のアーティストが参加。

12月 会員間で法人化の意思確認

#### **2025年**

2月 設立総会開催